

広報 おおくら

むら美しく 人いきいき キラリおおくら

9

令和元年
No. 721



HIJIORI
Light
project

歴史とあかりをたどる——

ひじおりの灯



歴史とあかりをたどる——

ひじおりの灯

温泉街を彩るあかり

肘折温泉街をやさしく照らす灯籠。「ひじおりの灯」は肘折の夏の風物詩。色とりどりの灯籠は旅館や商店の軒先に設置され、湯治場の夜を幻想的に灯します。

「ひじおりの灯」は開湯1200年を迎えた平成19年の夏にはじまり、今年で13回を数えます。開湯1200年にむけて肘折温泉ではいくつかのプロジェクトが発足されました。そのプロジェクトのひとつとして、柿崎雄一さん（肘折）を中心に発足したのが「灯籠プロジェクト」でした。地域おこしを目的に東北芸術工科大学と肘折温泉がアートをコラボレーションしたものです。はじめは学生や卒業生が灯籠を描いていましたが、現在では同大学の大学院生や卒業生らを中心に日本画やグラフィックデザイン、写真などさまざまな芸術分野で活躍する東北ゆかりのアーティストが参加するアートプロジェクトになりました。肘折青年

肘折を舞台に描かれる物語—— 夏の風物詩「ひじおりの灯」

団や旅館組合・商店組合の青年部が灯籠の設置などの手伝いをするようになり、現在は早坂隆一さん（肘折）を中心に「ひじおりの灯実行委員会」を組織し、運営を行っています。

湯治場に息づく情景を灯籠に

毎年、雪どけの季節にアーティストたちが肘折を訪れ、2泊3日の取材合宿を行っています。アーティストたちは地元住民による肘折の歴史についての講座、朝市や地蔵倉、金や銅の鉱石を採石していた鉱山跡を訪れ、肘折についての理解を深めていきます。さらに、個別の取材をとおして灯籠絵の制作テーマを決めていきます。制作テーマは温泉とともに生きる人々の暮らしや生命力あふれる動植物、山岳信仰や歴史など、湯治場に息づく情景を物語にし、アーティスト独自の感性で手漉きの月山和紙に描いていきます。できあがった絵を貼り込む八角形の木組み



「山菜と歩くひじおり」 桶本理麗さん



「鍔河」 草薨 裕さん



「Riverside Hijiori」 渋谷七奈さん



「山の秘密」 田中 望さん



「うつるながめ」 中須賀愛美さん



「山の中」 福田美里さん



「大きな大きな肘折さん」
古田和子さん



「佐藤三治^{だん}譚—あるひとりの人生から照らされて—」 増子博子さん



「冬のお面」 吉田勝信さん

は、伝統工芸の組子の技術で組み上げられたものです。木組みは内側から照明を当てた際、木組みの影が出ないように綿密に設計されています。

灯籠絵の画風や表現方法はさまざまで、今年は9人のアーティストが制作した灯籠が新作として発表されました。今年は旧作を含め、38作品が展示され、温泉街をあたたかなあかりが包み込みました。これまで「ひじおりの灯」を手がけたアーティストは200人を超え、318の物語が描かれています。

◀ ひじおりの灯のフライヤー。毎年こだわり抜いて制作されている。今年は「山から採ってきた灯籠」を表現し、自然をまるごと灯籠におさめたというメッセージが込められている。

▶ 5月の取材合宿のひとコマ。偶然にもカモシカと遭遇した。





中須賀 愛美さん
大学院生/広島県広島市

「うつるながめ」

昔の肘折と今の肘折の時間的なつながりをテーマに灯籠を描きました。湯治客のタオル越しに昔の肘折の光景が窓ガラスに映って見えるように表現し、昔と今の肘折を重ね合わせるようにしました。私の出身地の広島県は原爆で途切れた時間がありますが、肘折には



積み重なってきた歴史があります。土地が続いてきたのは、温泉の恵みや旅館同士の関係性、足を運び続けるお客さんがいるからだと感じました。様々なつながりが肘折の魅力だと思います。



福田 美里さん
作家/宮城県遠田郡

「山の中」

肘折を訪れて、感動したことを純粋にかたちにした作品です。5月中旬の地蔵倉までの道のりをアクリル絵の具で描きました。地蔵倉で見た自然や緑の無垢さを緑を基調に、目で見たきれいな、感動したなという色を落とし込みました。肘折には、水脈から発達



していった温泉や暮らし、豪雪から得た雪どけ水の恵みをベースにした自然があります。自分たちが普段暮らしていると忘れてしまっている自然や揺るがなさを体で感じています。



古田 和子さん
画家/山形県山形市

「大きな大きな肘折さん」

豊かな土地とそこで暮らす人々に惹かれ、今回は5回目の参加です。5月の取材合宿のときに、肘折の景色が赤ちゃんの生命力のようにうぶでやわらかく、つよい力のようなものを感じました。豪雪や雪どけ水、火山でできた温泉…水のめぐみが肘折を健やかにし



ていると感じました。湯治によって血液を元気にし、体を健やかにするイメージがありました。水脈と体をいやし、健やかにするイメージがリンクし、肘折を大きな人と見立てて表現しました。



増子 博子さん
画家/宮城県大崎市

「佐藤三治^{たん}譚 -あるひとりの人生から照らされて-

明治30年生まれの肘折こけし工人佐藤三治氏をテーマに灯籠を描きました。こけし工人の佐藤三治氏は不況の余波から、新天地を求め家族でブラジルに旅立ち、コーヒー豆を主作に農園経営をしていました。副業でコーヒーやマンゴーの木で日用品をつくっていまし



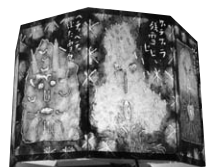
た。マンゴーの木などでつくられたこけしも肘折には残されています。佐藤三治氏というひとりの人生に照らされるように、水の^{せいせい}流れと人の流れがリンクする、^{せいせい}生々流転の物語を描きました。



吉田 勝信さん
デザイナー/山形県大江町

「冬のお面」

染色の技法を使い、肘折の冬を表現しました。雪にちなんだ8つのお面を描いています。初雪はきれいな女性をイメージし、日本の能のお面や世界中的お面の要素を組みあわせています。「カチカチ カタ雪大権現」などの名前をつけることでお面のキャラクター



がみえてきます。肘折の魅力はやはり「雪」。江戸時代の浴衣でも雪の結晶の柄のものがあ、雪の要素を入れることで涼やかになります。夏から冬へお客さんをつなげたいという思いも作品に込めました。



HIJIORI
Light
project

新作灯籠のアーティストが語る

灯籠にこめられた9つの物語



桶本 理麗さん
画家/北海道函館市

「山菜と歩くひじおり」

昼と夜で灯籠の見え方が変わるように画材を工夫しました。主に水彩で描いています。昼は明るい感じで、夜は異なる風合いに感じるかと思います。葉っぱが風でなびいている音や植物のいきいきした様子を表現したいと思い、植物に顔を描いています。愉快で楽し



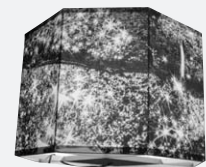
げな雰囲気表現しました。山菜ではふきのとうとごみをメインに描いています。動物はこの地域の植物を食べて生活している、食と土地との関わり、水をイメージしました。



草薨 裕さん
写真家/秋田県角館町

「^{からみかわ}鰻河」

鉱石を精錬する際に生じた^{からみ}鰻を銅山川に浸して、接写撮影した作品です。^{からみ}鰻は鉛色ですが、太陽に反射させると虹色に光ります。銅山川の笹にゴリの色は石が削られて、川を染めています。岩が削られ、川の水に色を与え、砂となり大地になっていく…人間がつくり



だした自然の残留物の^{からみ}鰻が長い年月をかけて大地に還元されていく循環を表現しました。川や山のようにも、星雲のようにもみえる、土と水の循環を一つの灯籠に落とし込みました。



渋谷 七奈さん
ペインター/宮城県多賀城市

「Riverside Hijiori」

地蔵倉には、願い事をした人が願いが叶ったお礼に置いていったと想像される神像があります。神様はひとつの場所で^{まつ}奉られているイメージがありましたが、願いや神様も年月をかけて、どこかに行ってしまった、どこか別の場所から新しい神様が来たりと流動



的なところが良いと感じました。肘折にはウエルカムなイメージがあります。肘折は自然とも神様とも近いです。肘折での発見を共有したいと思いこの作品をつくりました。



田中 望さん
画家/宮城県仙台市

「山の秘密」

肘折温泉が発見されたのが大同2年、温泉場として発展したのは月山の登山道として肘折口が開削してからといわれています。歴史は諸説あり、本当のところは分からないものもあります。源翁と山伏の顔を重ねたり、歴史上の人物の顔を重ねたりしていま



す。歴史は見る角度やアプローチを変えると色々な立場や側面が見えてきます。灯籠の透ける特徴を生かし、見る角度で色々な側面が見えるということと色々な顔が見えることを重ねています。

第13回灯籠絵展示会 「ひじおりの灯」

9名の若手アーティストによる新作を含む灯籠絵（湯治部屋での屋内展示は終了。現在は22作品）が旅館や商店の軒先に展示されています。温泉や人、いくつものいのち行き交う湯治場の夜をぐるり巡って、肘折の「絵物語」をお楽しみください。

開期 9月16日（月）まで
場所 肘折温泉街



※屋外で点灯する灯籠は雨天・強風時には点灯しない場合があります



▲ 共同浴場 上の湯では2つの灯籠が訪れる人々をむかえ入れる

水をテーマにした灯籠は足湯の近くになど、それを意図して作られるものもあれば、完成したときに自然と灯籠の場所が決まってしまうものもあります。灯籠自体が場所を選ぶような作品が生まれてくるおもしろみを感じています。

アーティストが家族を連れて「ひじおりの灯」を見に来てくれたり、遊びに来てくれたり、交流が増えたり、肘折のファンになってくれるアーティストも多いです。「ひじおりの灯」という場がアーティストを知ってもらえるきっかけになって欲しいですし、肘折をアートという形でさらに幅広く発信していくものにしていきます。

「肘折を訪れる度に、土地との距離感が縮まってきた感覚があります。逢いに来なくなる場所、それが肘折。変わらない風景、求めていた景色がここにはあるという安心感。そういうのが欲しくて肘折にくる」そう語ってくれたアーティストがいました。「ひじおりの灯」はアーティストとともにつくられる風景ともいえます。

初秋をむかえたこれからの季節は日没の時刻が早まり、あかりを長く楽しむことができるようになります。9月16日まで温泉街で「ひじおりの灯」を点灯しています。絵物語を楽しみに足を運んでみてはいかがでしょうか。

湯治場になじむ灯籠

夏の風物詩としてアートが湯治場にとけこんだ「ひじおりの灯」
アーティストが描く絵物語によりあらためて気づく肘折のよさ…
実行委員会の早坂隆一さんにお話を聞きました。

「ひじおりの灯」はアートイベントというよりも毎年あるお祭りと同じで、肘折の夏の風景のひとつになりつつあります。肘折を訪れたお客さんはあかりをたどりながら温泉街を歩いています。地元の人たちも夜、共同浴場へむかつて歩く際の楽しみにもなっているようです。

自分たちが当たり前に思っているようなことや気づいていなかったことを灯籠の絵で描いてもらうとすごくおもしろいですね。肘折



ひじおりの灯実行委員会
早坂 隆一さん（肘折）

は温泉というイメージが強いですが、アーティストたちは銅山川や温泉街の水路から、常に水の音が聞こえるという印象を持つようです。そのことから、水をテーマにした作品も多くあります。また、歴史やこけしについても制作のために調べて灯籠絵という形に落とし込まれることで、地元に住む私たちが再発見することも「ひじおりの灯」の魅力といえます。

灯籠は旅館や商店の軒先に設置していますが、「この灯籠はここから動かせないな」という灯籠が生まれてくることがあります。そこに毎年、奉られるかのように位置が決まっている灯籠もあります。

湯治場になじんだアート 「ひじおりの灯」

肘折という舞台で描かれた灯籠絵の数々――。灯籠絵をとおして、歴史や自然、人々の暮らしを垣間見ることが出来ます。

「ひじおりの灯」は夏の夜を彩り、温泉街を歩く楽しみを与えてくれます。カメラやスマートフォンで灯籠と湯治場の風景を写真におさめる親子、一つひとつの灯籠をゆっくりと時間をかけて眺める人など、楽しみ方は人それぞれ。灯籠絵の一つひとつに解説がついており、作品に込められたアーティストの想いや描写背景を知ることが出来ます。

また、展示されている灯籠作品の中には、日本の芸術分野で活躍するアーティストの作品もあり、それらの作品を目当てに肘折に足を運んだという方も増えてきています。





新成人に聞きました はたちの夢

MESSAGE 恩師から成人になった君たちへ



大蔵中学校
3年時担任 矢口 賢 先生

色々な人たちとの出会いがあって今があります。偶然の出会いを大事にしてください。24人の一人ひとりの命がかけがえないものです。みんなが命を大切に、出会いを大切に一步一步生きていってください。



大蔵中学校
3年時学年主任 鈴木 清 先生

越えられない壁はないと言えます。一回りも二回りも大きくなってください。そして、この仲間を大事にしてください。還暦をむかえるまで誰一人欠けることなくいてください。これからの活躍を祈っています。



大蔵小学校
6年時担任 高橋 欣正 先生

「物事を正しく見るには、たった一つの方法しかない。物事の全体を見ることだ」というジョン・ラスキンの言葉を贈ります。さまざまな出会いと努力が自分らしい人生を歩んでいくための大きな芽になります。

第71回大蔵村成人式が8月14日（水）、村中央公民館で行われました。今年度の新成人は24名で、その内21名が式に参加しました。

式典では、新成人代表の齊藤翔さん（合海）が「私たちはすでに就職し働いている人、大学や専門学校で学業に励んでいる人など立場はさまざまですが、日々自分たちの目標に向かって努力しています。今日、私たちが成人式を迎えられるのは、両親をはじめ、家族、友人、ご指導いただいた先生方など多くの方々の支えがあったおかげです。その方々への感謝の心を忘れず、成人になった自覚を持ち、これから生きていきます」と誓いの言葉を述べました。

式典には大蔵小学校・大蔵中学校時代の恩師3名が駆けつけ、お祝いや激励の言葉、懐かしいエピソードが贈られました。また、小学校・中学校時代の思い出の写真でつくったスライドショーが上映されました。懐かしい映像に歓声が沸き、友人同士で顔を見合わせるなど、和やかな雰囲気の中、式典が行われました。

式典終了後には、大蔵小学校の卒業時に埋めたタイムカプセルが開封されました。タイムカプセルには、二十歳の自分に向けた手紙や小学生のときに書いたポスターイラスト、当時使っていた野球ボール、日記など、それぞれの思い出の品が入っていました。

第71回大蔵村成人式 成人おめでとう



▲ 夏の味覚を味わいながらも豪快に！

夏のトマトを豪快に トマトライアスロン

8月9日(金)、役場第3庁舎前でトマトライアスロンが行われました。村特産のトマトを広くPRするため、村の納涼花火大会にあわせて開催されています。団体戦と個人戦が行われ、大玉・中玉・ミニトマト、トマトサイダー、トマトアイスをどれだけ早く食べ終わるかを競いました。団体戦では村農業後継者の会「メنز農業」が他チームに大差をつけ優勝し、個人戦では夏休みを利用して大蔵村を訪れていた国分友志さん(神奈川県藤沢市)が優勝しました。



仮装で盆踊り 肘折温泉湯坐神社祭

8月16日(金)、肘折いでゆ館で仮装盆踊り大会が開催されました。肘折温泉の守り神である湯坐神社の祭礼行事のひとつで、この日を皮切りに素人のど自慢大会や奉納相撲大会が行われています。仮装盆踊り大会は明治39年に始まり、今年で110回を数える歴史ある行事です。村内外からの参加者50人が映画やアニメ、オリジナルのキャラクター、有名人などに扮した仮装を行いました。

仮装した参加者や肘折の婦人会、総勢150人ほどが大きな円になり、肘折盆唄や花笠音頭の音楽に合わせ踊りました。雨天のため、肘折いでゆ館での開催となりましたが、室内ならではの照明を使った演出なども行われ、にぎやかな盆踊り大会となりました。

実行委員会による仮装や踊りの審査が行われ、努力賞や優秀賞などの表彰が行われました。映画の主人公であるクマの装いをした鈴木隆太郎さん(千葉縣市川市)が最優秀賞に選ばれました。鈴木さんは「100年以上の歴史がある仮装盆踊り大会を盛り上げたいと思い、参加しました。思った以上に暑くて大変でした」と話してくれました。



▲ (上) 小さな子どもから大人までさまざまなキャラクターに扮しました (左下) 仮装盆踊り大会の常連参加者の仮装は本格的 (右下) 肘折の小中学生はお囃子をつとめました



▲ 浄水場の仕組みを熱心に学びました

水道ってどうやって家までくるの？

8月22日(木)、大蔵小学校4年生35名が清水合海浄水場の見学を行いました。社会科の授業の一環で同施設を訪れ、井戸やろ過機、ポンプなどを実際に見て、水道水の仕組みについての学習をしました。児童たちからは「1日にどれぐらいの水をきれいになっているのですか、なぜここに浄水場が設置されているのですか」などたくさんの質問が出されました。柿崎航太くん(赤松)は「深井戸が80mの深さがあるとわかってびっくりした」と感想を話してくれました。



▲ 遊歩道の道標をなおしました



▲ パーゴラは簡単に組み立てられたよ



▲ 名古屋からおじいちゃんの家遊びにきたという子どもたちと



▲ 工場内にはたくさんの木が積まれていました

みどり豊かな森林環境づくり

やまがた緑環境税を活用した木に親しむ環境づくり事業が村内2か所で開催されました。やまがた緑環境税は荒廃が進む森林の整備や県民参加による森づくり活動に取り組むことを目的に創設されています。

7月28日(日)、四ヶ村地区の住民13名が参加し長沼周辺の環境整備が行われました。ルリイトンボや貴重な水生植物が生息する男沼・長沼は県の里山環境保全地域にも指定されているブナ林が広がる緑ゆたかな場所です。3時間ほどかけ、遊歩道の整備や破損してしまった看板や道標を修理し、安全に散策できる環境に整えました。

8月7日(水)、合海地区にある子育て支援住宅「どんぐり」の広場でパーゴラづくり体験事業が開催され、子育て支援住宅に住む親子18名が参加しました。体験事業の始めには最上広域森林組合の方による「里山の放置の影響や整備の重要性を学ぶ」をテーマに講話が行われ、森林が果たす役割について学習しました。パーゴラは県産間伐材を材料にした組み立て式の東屋です。参加した子どもたちは床に10cmほどの丸太を敷き詰め、完成させていました。

山形空港 夏のおいしいキャンペーン

8月8日(木)、おいしい山形空港の名称にちなんだ「夏のおいしいキャンペーン」が行われ、山形空港に到着したみなさんに大蔵村産のミニトマトがプレゼントされました。このキャンペーンは夏と冬に開催され、各市町村がおいしい特産品をプレゼントし、PRしているものです。名古屋・伊丹・札幌から到着したみなさんにミニトマト300パックがプレゼントされました。到着口にはおおくらくんも登場し、子どもたちは嬉しそうに一緒に記念撮影をしていました。

木の活用を学習 大蔵村みどりの少年団

8月8日(木)、大蔵村みどりの少年団から小学生16名が参加し、木材の利活用についての体験学習が行われました。ふるさと味来館で箸づくり体験をした後、新庄中核工業団地にあるバイオマス発電所の見学も行いました。発電所では木を機械でチップにする様子から発電、送電する施設を見学しました。参加した子どもたちは「大きな木が一瞬で小さなチップに変わるのはびっくりだった。施設の中は蒸し暑くて、働いている人はすごいと思った」と感想を話してくれました。

食品表示講習会を開催します

産業振興課 農政係 ☎75-2105(内線233)

▶食品表示基準が改正されています

平成29年9月1日に食品表示基準の一部が改正され、新たな加工食品の原料原産地表示制度がスタートしました。全ての加工食品に原材料の産地表示が必要となり、加工・販売の際には注意が必要です。

(表示例1)

名 称	ウインナーソーセージ
原材料名	豚肉（アメリカ産、国産）、 豚脂肪・・・

(表示例2)

名 称	チョコレートケーキ
原材料名	チョコレート（ベルギー製造）、 小麦粉・・・

▷産地が表示されるもの

全ての加工食品の最も多い原材料

▷表示方法

国別重量順表示、又は表示、大括り表示

▷表示される原産地

最も多い原材料が生鮮食品の場合は産地を表示、加工食品の場合は製造地を表示

▶食品表示講習会を開催します

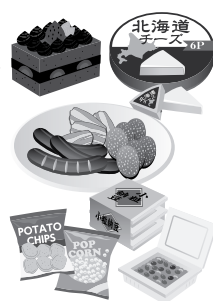
上記で紹介した原料原産地表示制度のほかにも、平成27年4月に改正されたアレルギー表示のルール改善、加工食品の栄養成分表示の義務化など、食品表示に関わるルール改正が行われています。

食品の表示は消費者が食品を購入するときに食品の内容を正しく理解・選択したり、摂取する際の安全性を確保したりする上で重要な情報源となっています。加工・販売に携わる方、これから携わる予定のある方など、ぜひご参加ください。

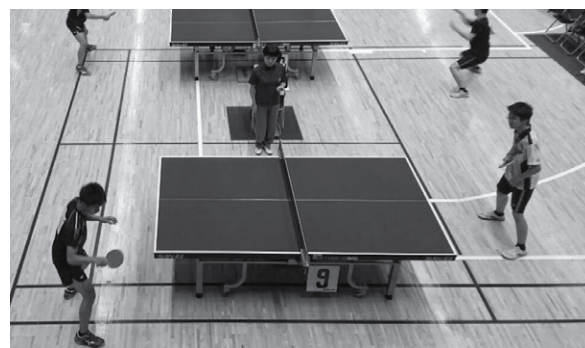
▷とき 9/18(水) 18:30～

▷場所 役場 第2会議室

▷講師 農業振興課 星 悠一郎 氏
保健企画課 三浦 友洋 氏



早坂英人さん(白須賀) 全国高校定時制通信制体育大会に出場



▲ 右側が早坂英人さん

鶴岡南高校通信制3年早坂英人さん(白須賀)は県高校定時制通信制総合体育大会卓球男子シングルスで優勝し、8月6日(火)から東京都駒沢オリンピック公園総合運動場で開催された第52回全国高等学校定時制通信制体育大会に出場しました。早坂さんは2回戦から登場し4回戦まで勝ち上がりました。

引き続きよろしくお願いします 3名の人権擁護委員が委嘱を受ける

7月1日から大山真照さん(沼の台)、小屋久好さん(季の里)、長南智美さん(豊牧)が引き続き人権擁護委員に委嘱されました。人権擁護委員は、市町村長が推薦し法務大臣が委嘱した民間のボランティアです。

人権擁護委員は地域のみなさんから相談を受け、問題解決のお手伝いをしています。また、小中学校合同で行う人権の花運動や小学5年生を対象に行われる人権教室など、地域のみなさんに人権について関心をもってもらえるように啓発活動を行っています。引き続きどうぞよろしくお願いします。



大山真照さん



小屋久好さん



長南智美さん

長南美来さん(季の里) 全日本空手道選手権に出場



大蔵小学校1年長南美来さん(季の里)は少年少女空手道選手権大会山形県予選会で県代表選手として認定され、8月3日(土)から東京武道館で開催された第19回全日本少年少女空手道選手権大会に出場しました。

設楽智行さん(合海) 東北高校対抗自転車競技選手権に出場

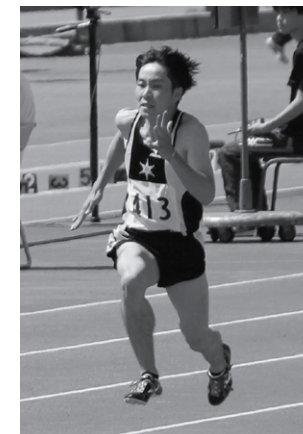


新庄神室産業高校2年設楽智行さん(合海)は、県高校総体自転車競技、男子1kmタイムトライアルなど3種目で優勝し、6月13日(木)から秋田県で開催された第51回東北高等学校対抗自転車競技選手権大会に出場しました。

鳴海大雅さん(清水二)、早坂雅妃さん(白須賀) 東北高校陸上競技大会に出場

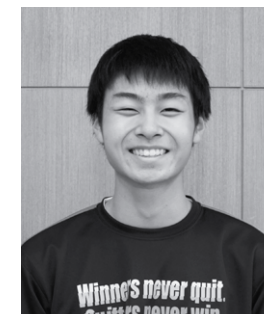
第70回県高校総体陸上競技大会で、新庄北高校3年鳴海大雅さん(清水二)が男子100mで5位入賞、同じく新庄北高校1年早坂雅妃さん(白須賀)が女子800mで3位入賞しました。入賞を受け、6月14日(金)から秋田市で開催された第74回東北高等学校陸上競技大会に出場しました。早坂さんは女子800mの準決勝まで勝ち進みました。

▶(左) 鳴海大雅さん
(右) 右から2番目が早坂雅妃さん

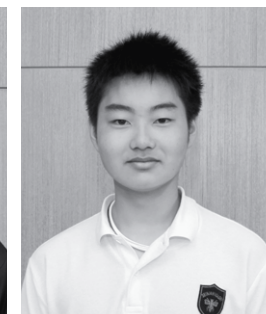


矢口圭吾さん(合海)、早坂音人さん(大坪)、伊藤和望さん(季の里) 東北高校バドミントン選手権に出場

第70回県高校総体バドミントン競技大会で、新庄東高校1年矢口圭吾さん(合海)・早坂音人(大坪)さんが男子団体で3位入賞、新庄南高校3年伊藤和望さん(季の里)が女子団体で3位入賞しました。入賞を受け、6月21日(金)から天童市で開催された第48回東北高等学校バドミントン選手権大会に出場しました。



矢口圭吾さん



早坂音人さん



▶ 右側が伊藤和望さん

R1みんないっしょ
親子でスポーツ！

親子で楽しめる運動遊びを体験
できます。

●とき 10/12(土)9:30～12:00

●場所 すばーていあ

●対象

幼児から小学校低学年の子ども
とその保護者など

●参加料 無料(要申込)

●申込締切 9/20(金)

☎ 最上総合支庁子ども家庭支援課
☎29-1245

応急手当普及員養成講習会

通報から救急車が到着するまでの
応急手当の普及を目的に応急手
当普及員養成講習会を開催します。

●とき 10/12(土)～14(月)
9:00～18:00

●場所 最上広域消防本部2階会議室

●講習内容

AED の使用を含めた応急手当に
関する知識と心肺蘇生法・止血方
法等の技能について

●対象

応急手当を普及していただける
方ならどなたでも

●定員 40名

●申込締切 9/30(月)

※受講料は無料です。昼食につい
ては各自準備してください

☎ 最上広域消防本部 ☎22-7521

山形県下水道協会
排水設備工事責任技術者試験

第29回排水設備工事責任技術者
の県内統一試験が行われます。

●とき 11/17(日)13:00～15:30

新庄市夜間休日診療所

新庄市保健センター内に開設
☎29-6300

●診療科目 内科・小児科

●受付時間

夜間診療(月～土曜)

18:30～21:00

休日診療(日曜・祝日・12/31～1/3)

8:30～11:30/13:00～16:30

●問合せ先

新庄市健康課健康推進室 ☎22-2111

●場所 協同の杜JA研修所

(山形市東古館123)

●申込締切 9/30(月)

※希望者を対象に受験講習会を開
催します。

☎ 役場地域整備課上下水道係
☎75-2102(内線221)

危険物取扱者試験準備講習会

●とき

丙種 10/16(水)9:00～16:00

乙種第四類

10/17(木)～18(金)9:00～16:00

●場所 最上広域消防本部2階会議室

●対象

危険物取扱者試験受験のために
受講を希望される方

●受講料

丙種 1,500円

乙種第四類 2,500円

※別途テキスト代が必要になり
ます。

●定員 50名

●申込締切 10/4(金)

※受講申込書は消防本部・消防署・
各支署に準備しています。

☎ 最上広域消防本部 ☎22-7521

山形県企業局コンサート
音楽のワンダーランドinもがみ

●とき 10/18(金)19:00開演
(18:00開場)

●場所 新庄市民文化会館

●内容

山形交響楽団が映画音楽やクラ
シックの名曲などを演奏します。
沼田小学校合唱部との共演も予
定しています。

●入場料 無料(要申込)

編集
後記

稲穂の頭が垂れて
きて、秋の訪れが感
じられる季節となりま
した。夕暮れがきれいな季節でも
ありますね。さて、今月号の特集は
「ひじおりの灯」です。以前から特
集を組み、みなさんに魅力をお伝
えしたいと考えていたテーマでし
た。アーティスト独自の観点から
描かれる情景。毎年新しい作品が

発表され、今年はどんな作品が生
み出されるのだろう…と楽しみに
しています。身近な場所で芸術作
品を目にする絶好の機会でもあり
ます。お気に入りの作品をみつけ
るもよし、作品に込められた時代
背景に目をむけるもよし。昼と夜
の灯籠を見比べるもよし。9/16ま
で開催していますので、ぜひ足を
運んでみてください。

大蔵村環境衛生通信 vol.63

9月と10月は古着回収を行います！

▶古着回収の日程

9/11(水)・9/25(水)・10/9(水)・10/23(水)

▶回収できるもの

古着(汚れや破れがなく着用できるもの) Tシャツ・ズボン類・
コート・ジャケットなど

靴(両足がそろっていて履けるもの) 革靴・運動靴など

バック類(使用できるもので壊れていないもの) リュックサッ
ク・ランドセル・ショルダーバックなど

▶回収できないもの

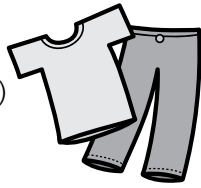
綿が入っているもの、冬に使う衣類や半てん・アノラック、
ゴム靴・スキー靴・ブーツ、壊れて使えないバック

▶古着の出し方

燃やせないごみ袋(透明袋に緑の文字)に、古着・靴・バッ
クを種類ごとに分けて入れ、各地区のゴミステーションに出
してください。

※詳しくはごみ分別完全ガイドを参考にしてください。

☎ 問合せ 役場健康福祉課 健康衛生係 ☎75-2104 (内線272)



読んであげたい今月の1冊に

絵本とお話の会 フレデリック

📖 今月の1冊 📖

「あきいろおさんぽ」

作・絵 村上康成



(ひかりのくに)

みなさんは「あきいろ」とい
うと何色をおもいうかべるでし
ょうか。るちゃんがおさんぽ
のとちゅうでいろいろな生きも
の・あきの実りに出会います。
ねむくなりきつねさんとおひる
ねしていると、おくからおおき
なおおきなクマがちかづいてき
ました。るちゃんはだいじょ
うぶでしょうか。みなさんもあ
きいろさがしのおさんぽにでか
けてみてくださいね。

●中央公民館でかりることができます
●読み聞かせ時間 2分

戸籍の窓

7月16日～
8月15日届出分

お悔やみ申し上げます

地 区	お名前(年齢)	世帯主
金 山	結城 正 (88)	正
肘 折	斉藤ハルミ (90)	和 孝
沼の台	三原 春奈 (22)	徳太郎
季の里	佐藤 とみ (71)	泰 二
塩 楯	柿崎キヌ子 (78)	忠 夫
大 坪	加藤 愛子 (89)	昭 一

※届出の際に、掲載希望の確認を行って
います。担当窓口にお申し出ください。

人のうごき

令和元年7月末現在
() は昨年同期

世帯数	1,057戸	(1,076戸)
人 口	3,192人	(3,285人)
男	1,583人	(1,625人)
女	1,609人	(1,660人)
出 生	男 0人	女 0人 計 0人
死 亡	男 1人	女 5人 計 6人
転 入	男 2人	女 3人 計 5人
転 出	男 4人	女 3人 計 7人

9月の予定

1日(日)	県民河川愛護デー
2～4日(月～水)	村議会9月定例会
7日(土)	大蔵村保育所運動会
8日(日)	温泉ドクターアドバイス
12日(木)	ヘルシーティース
13日(金)	育児相談
14日(土)	肘折夜市
15日(日)	大蔵村総合防災訓練
17日(火)	行政相談
25日(水)	おおくらみらい会議
28・29日(土・日)	イングリッシュキャンプ
29日(日)	温泉ドクターアドバイス

村税の納期限

🔗 税 目	固定資産税第3期 国民健康保険税 第3期
🔗 納期限	9月30日(月)

納期限まで忘れずに納税しましょう。
口座振替の方は残高の確認をお願いし
ます。

8/3 (土) 四ヶ村棚田ほたる火コンサート



笛オカリナの第一人者「宗次郎」



8/9 (金) 大蔵村納涼花火大会

発行 編集 大蔵村役場総務課

山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地

☎ 0233-75-2111
🌐 <http://www.vill.okhura.yamagata.jp/>